

スウェーデンハウス流
移住のすすめ

Sweden Hills Town News

スウェーデンの豊かな住環境を再現し、
33年前に誕生したスウェーデンヒルズ。
北海道外から移住された方々は約7割にもなります。
今回は移住をお考えの方の参考に、
現地にお住まいの鹿島さんにお話をうかがいました。



Sweden Hills

札幌の中心部から車で約40分。石狩湾を一望できる丘陵地の変化に富んだ地形と豊かな自然を感じる森に包まれた街、スウェーデンヒルズ。スウェーデンハウスの創設メンバーが掲げた「人が人らしく自然と調和して豊かに暮らす」という理想の街づくりを実現するために、1984年に誕生したスウェーデンハウス発祥の地です。電線を地中に埋設し、電柱のない街なみを創出。自然に映える色あいに統一されたスウェーデンハウスがゆったりとした間隔で建ち並んでいます。ここには多忙な日々を送る現代が忘れていた、大自然を背景に悠々と日常を楽しむ暮らしがあります。人生をもっともっと楽しみたいご家族のための街、それがスウェーデンヒルズです。宿泊体験も好評実施中です。

詳しくは www.swedenhills.jp または

スウェーデンヒルズ 東京ショールーム

東京でスウェーデンヒルズの情報を
ご案内しています。どうぞお気軽に。

お問い合わせは 0120-242-522 9:30~18:15 水曜定休(祝日除く)

東京都江東区豊洲 6-1-9 (スマートハウジング豊洲まちなみ公園)

詳しくは www.swedenhills.jp または

「人生の質を求めたら、 この丘に辿り着く。」

当別町は どんな町なのか？

札幌の北に隣接するスウェーデンヒルズ(石狩郡当別町)。秋には樹木が一斉に紅葉を競い合い、汚れなく鮮明で美しい彩りを見せてくれます。豊かな自然に恵まれている上、札幌市中心部や千歳空港へのアクセスも良く、道外からの移住も考えやすい町です。スウェーデンヒルズに移住して20年の鹿島さんはおっしゃいます。「実は当別町長さんも2010年に移住してきた方。道外の人たちの経験や知識を活かして、町をもっと良くしていこうという空気がありますね。行政が受け入れに積極的ですし、スウェーデンヒルズには移住の先輩方もたくさんいるので、これから移住を考える人には心強いと思います」。

日常の暮らし、 通勤・通学は？

スウェーデンヒルズには、幅広い世代の約780人が暮らしており、7割の方が定住されています(3割の方は別荘としての利用)。「当別ふれあいバス」が最寄りのJR「石狩太美駅」や「あいの里教育大駅」、「北海道医療大学駅」まで運行、通勤や通学の足として利用されています。また小・中学校の授業がある日は、当別町教育委員会のスクールバスが運行しており、鹿島さんのお嬢さんも、このスクールバスで毎日学校へ通われています。3歳からスウェーデンヒルズで育ったお嬢さんは今年の4月から社会人となり、現在は東京にいらっしやいます。



今回お話をうかがった
スウェーデンヒルズ在住20年
鹿島さん

非日常が日常に なる暮らし。

実は鹿島さんも現在、東京に単身赴任中です。「札幌勤務だった頃は、バスとJRを使っ

ギング、ロードバイクなどを大自然のもとで満喫される鹿島さん。ご近所の方とウッドデッキでご飯を食べたり、庭でバーベキューをしたりするのはよくあることだそう。野生の動物たちに出会うことも。「都市での非日常が、ここでは日常なんです。私もそうですが、スウェーデンヒルズには、皆さん、生活の質を重視して集まってきていらっしやるような気がします。ここでの生活の質は、他にはないですから」。

車はすいていて通勤ストレスはありませんでしたね。今は金曜日に会社が終わってから飛行機に乗り、週末をスウェーデンヒルズで過ごされます。「スウェーデンヒルズは大自然のイメージが先行しがちですが、交通の便もとてもいいところなんです。20時台に羽田から発つと、23時台にはもう我が家。家の前で夜空を見上げると満天のミルキーウェイです」。趣味の溪流釣りやジョ



鹿島さんのご自宅